

秘

第一號

昭和十二年

自十一月十二日
至十一月十五日

新倉鎮附近
戰鬥詳報

(四里橋廣陳鎮附近
戰鬥ヨリ
吉野軍進出ニ
關スル事)

歩兵第六聯隊第一大隊

1689

目次

- 一 本文
- 二 戦闘間特ニ功績顯著ナル者
- 三 参考事項
- 四 戦闘参加筋校同相当官職員表
- 五 戦闘詳報附表第一第二第三號
- 六 野澤隊ノ指揮下ニ入り戦闘シタル部隊ノ經過概要

1690

昭和拾二年 自十一月十二日 新倉鎮附近戰鬥詳報

十一月十二日

一 昨十日夜十時零分金系娘橋ヲ進發セル聯隊ハ十二日午前六時十分新倉鎮東方〇〇米ニ達シ前衛タル第一大隊ハ將校斥候ノ報告ニ依リ新倉鎮ニ友軍部隊(24)台領シタルコトヲ知リ午前七時其ノ先頭ヲ以テ入城セリ、城内ニ友軍砲兵部隊充滿シテ防備嚴重ナルヲ見ル

二 午前八時聯隊長ハ新倉鎮西端ニ於テ当地警備隊將校ヨリ情況ヲ聽取シタル後左記聯隊命令ヲ下達ス

歩六六作命甲第十三号

歩兵第六十六聯隊命令

十一月十二日午前八時四十五分
於新倉鎮西端聯隊本部

一 聯隊當面ノ敵ハ西里橋ニ約一中隊趙家橋鎮ニ約一中隊西馬橋ニ兵力未詳ノ敵アルモノ如ク諸情報ニ依リハ敵ハ毎夜約四五十ノ兵力ヲ以テ新倉鎮ヲ奪回スベク逆襲シテアリ旅團ハ本土日速カニ西里橋趙家橋鎮ノ敵ヲ攻撃スル企圖ヲ有ス

二、聯隊(第二大隊欠)ハ本土日速ニ西里橋及趙家橋ノ敵ヲ攻撃スル
目的ヲ以テ新倉鎮及西馬橋ノ線ヲ占領シ前面ノ敵狀地形ヲ搜索セ
トス

三、第一大隊(第四中隊欠)ハ部ヲ以テ三官堂主カヲ以テ新倉鎮西端
ヲ占領シ主トシテ西里橋ヲ攻撃スル目的ヲ以テ敵情地形ヲ搜索スベシ
一部ヲ以テ新倉鎮西方約十米ワリノ交叉點ヲ占領シテ搜索據点ト
スルハルト共ニ聯隊ハ西里橋ノ敵ヲ攻撃スルタメニ官堂西北方地區
リ敵ノ側背ヨリ攻撃スル企圖ヲ有ス

四、第九中隊(第三機関銃ヲ屬ス)ハ速ニ西馬橋ノ敵ヲ攻撃シ該地ヲ占
領シ主トシテ趙家橋鎮ヲ攻撃スルヲ為敵情地形ヲ搜索スベシ成シ得ハ
一部ヲ以テ西馬橋西方千米斜勤橋附近ヲ占領シ搜索據点トスルハ
趙家橋鎮西南方ヨリ該地ヲ攻撃スルタメ進路ノ偵察ヲナスベシ

五、第一大隊及第九中隊ノ搜索地境ノ境界ハ新倉鎮南端ヨリ同
家圩鎮北側橋梁及廣福橋ヲ連スル線トス線上ハ第一大隊屬ス

六爾後、諸隊ハ予備隊トス新倉鎮西北側^(附近)森島少尉ノ指示スル區域ニ
位置スベシ但シ第四中隊ハ軍旗護衛中隊トシ聯隊本部前ニ單哨ヲ
配置スルト共本部ノ直接警戒ニ任スベシ又第三大隊長ハ別ニ指示ル
斥候ヲシテ敵情ヲ搜索スルト共予備隊位置四周ノ警戒ヲ行フベシ
七給養ハ努メテ現地物質ニ依リ特ニ衛生ニ注意スベシ

八余ハ新倉鎮西北端聯隊本部ニ位置スル命令受領者ヲ集メ置クベシ

聯隊長

山田中佐

下達法

第一大隊長第三大隊長第九中隊長ニハ安^ニ命令ヲ下達シ爾後命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

注意

一十三日拂曉及午前十時ニハ我海軍航空丁數機独山及我カ師團ノ
攻撃ニ協力シテ爆撃ヲ實施ス各隊連絡規定ニ依リ實施スル外特ニ
飛行機ト密ニ連絡スベシ

ニ海軍ヨリ通信連絡班派遣セラル、各隊ハ之ヲ援護ニ関シ積極的ニスト共ニ該班歸艦ニ當リハ之ヲ援護ニ任セシムベシ

三各隊並ニ偵察斥候ハ敵陣地ノ正面攻撃ヲ避ケ側面若クハ背後ヨリ迂回攻撃スル目的ヲ以テ偵察スルヲ要ス

三右聯隊命令ニ基キ午前九時左ノ大隊命令ヲ下達ス

第一大隊命令

十一月十二日午前九時。分
於新倉鎮西端大隊本部

一聯隊當面ノ敵ハ西馬橋ニ約一中隊趙家橋鎮ニ約一中隊西馬橋ニ雲方少ノ敵アルモノ如ク諸情報ニ依リハ敵ハ昨夜約四五ノ兵ヲ以テ新倉鎮ヲ奪回スベク遂襲シテアリ旅團ハ本十二日連ニ西馬橋趙家橋鎮ノ敵ヲ攻撃スル企圖ヲ有ス

聯隊(丑久)ハ本十二日連ニ西馬橋及趙家鎮ノ敵ヲ攻撃スル目的ヲ以テ新倉鎮及西馬橋ノ線ヲ占領シ當面ノ敵情地形ノ偵察ス、第九中隊(MG)一小隊ヲ屬スハ西馬橋ノ敵ヲ攻撃シ該地ヲ占領スルト共ニ其西方斜金橋ヲ搜索據点トシテ占領スルヲ旨

二大隊(第四中隊欠)ハ新倉鎮西端附近ニ主力ヲ集結シ四里橋方向ノ敵情
地形ヲ偵察シ明拂曉ノ攻撃ヲ準備セントス

左大隊トノ搜索地境ノ境界ハ新倉鎮南端橋梁―四里橋東南
ニ將無名部落南端及周家圩鎮北側橋梁ト廣福橋ヲ連スル線トス
線トハ當大隊ニ含ム

三、長少尉ハ部下二分隊ヲ指揮シ直ニ出發四里橋附近ノ敵情地形ヲ搜
索スベシ

四、第二中隊ハ主力ヲ以テ新倉鎮西端附近ニ位置シ一分隊ヲ其西方約二村ノ
大クリークノ交叉点ニ派遣シ四里橋方向ニ對シ警戒ヲ戒スルト共當面ノ敵情地
形ヲ搜索スベシ

尚ホ下士官ノ指揮スルテハ隊ヲ連絡據点トシ新倉鎮西方ニ〇。米三官堂
ニ通スル十字路附近ニ出シ兼ネテクリーク南側ノ警戒ヲ行ハシムベシ

五、第三中隊ハ三官堂ニ位置シ第二中隊ニ連繫シ四里橋以北ノ地ニ特ニ
將來敵ノ左側背ヲ攻撃スル目的ヲ以テ敵情地形ノ搜索ヲナスベシ

尚在三塘鎮手塚旅團、残置部隊連絡スベシ

六、西中隊搜索地境左ノ如シ

三官堂南側三叉路、山崖橋北端ヲ連スル線、線六左中隊ニ含ム

七、爾余ノ部隊ハ新倉鎮西端附近ニ集結スベシ、其ノ細部ハ別命ス

第中隊ヨリ將校、斥候一組ヲ準備スベシ、任務ハ後命ス

八、給養ハ努メテ現地物資ニ依ルベシ

九、余ハ新倉鎮西端大隊本部ニアリ

歩六六第一大隊長 一刈少佐

下達法

第一線中隊長ニハ要旨ヲ口達後、命令受領者ヲ集メ口達筆記セム

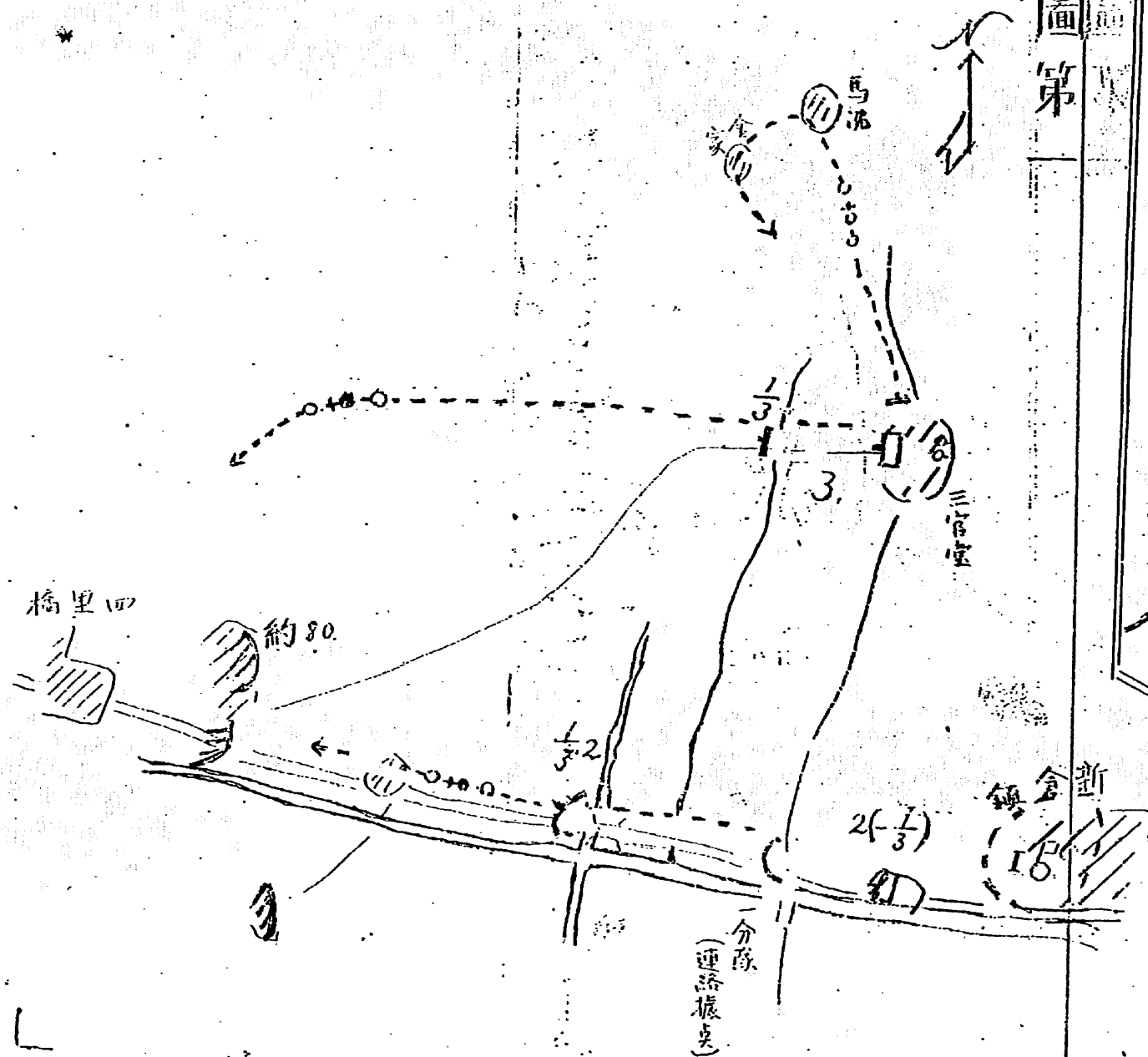
四、大隊命令ノ要旨傳ヘテ派遣セル第二、第三中隊ハ予定ノ如ク進出シ敵情

地形ヲ偵察中ニシテ午前十時、分第三中隊長ヨリ左ノ報告ヲ受領ス

左記

(一) 午前九時十分三官堂ニ達ス

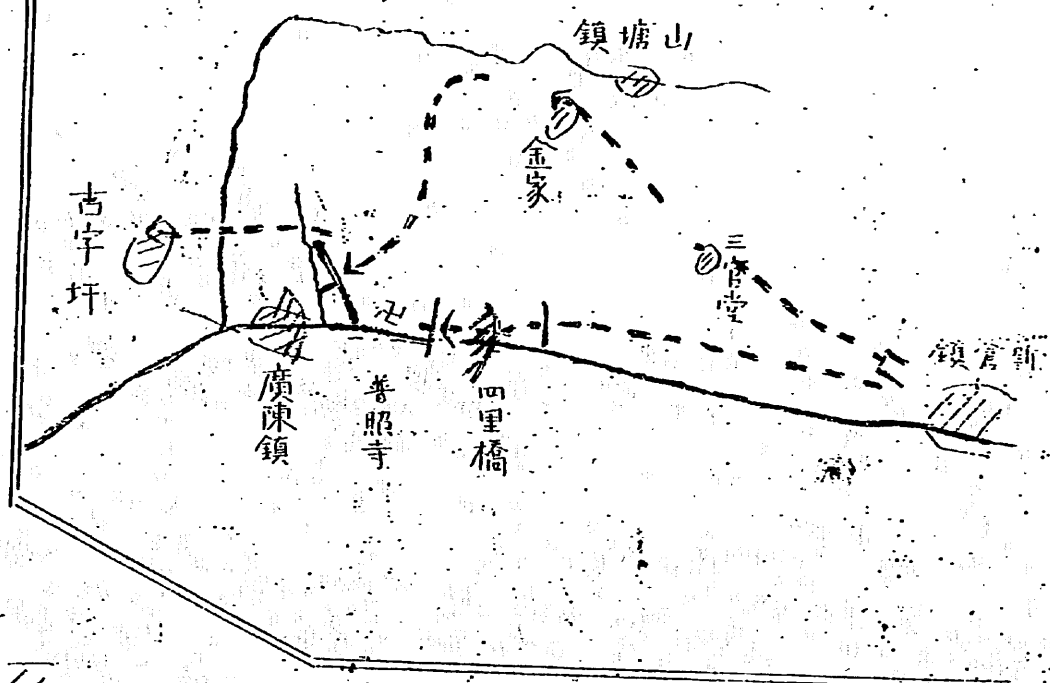
新倉鎮附近第一大隊警戒要圖
於十一月二十日午前九時分



附圖第

新倉鎮附近行動要圖

自十一月二十日
至十一月二十五日



(二) 敵情ニ就テハ未ダ得ル所ナキモ友軍斥候ノ言ニ依リハ附近一帯ハ敵ノ襲撃ヲ受ケタルコト再ニ上リ

(三) 午前九時四十分(要圖ノ如ク)警戒戒備ヲ完了セリ

(四) 馬池及金家方向ニ斥候ヲ出シ搜索中ナリ

(五) 第二中隊トハ直ニ連絡ヲ取ルヲ定メリ同時稍前第二中隊ヨリ別紙要圖ノ如ク警戒戒備完了ノ報告ヲ受ク當時於ケル大隊ノ警戒

戒備附圖第一ノ如シ

五 第一線西中隊ヨリテ専ラ敵情地形ヲ搜索セシメ主力ハ新倉鎮西端附近ニ集結ス

六 午前十一時稍過四里橋正面ニ出シタル132ニ対シ約七〇名ノ敵逆襲シ来タリ熾烈ナル銃聲ヲ聞ク

大隊長ハ直ニ第二中隊ノ主力及147ヲ増援セシメ且ク湍谷大隊ヲ

派遣シ戦闘ヲ指導セシム

銃聲ハ漸クニシテ夜ハ午後零時三十分敵ヲ撃退セリ

同時渋谷大尉ヨリ左ノ報告ヲ受ケ(附圖第二参照)

- (一) 敵情ニ関シテハ第二中隊長ノ報告ニ通リニシテ其後挑戦ノ兆ナシ
(二) 第二中隊ヲ部署シ警戒戒中ナリ

日下四里橋東方ノ橋梁附近ニ位置シアリ

ヲ戦闘ニ於テ和氣信雄伍長右胸部貫通銃創ニテ戦死ス
當部隊最初ノ犠牲者ナリ

七、午後一時。分三官堂第三中隊ヨリ左ノ報告ヲ受ケ

- (一) 午前十一時三十分將校斥候ヲ三官堂——四里橋方面ニ出シ敵情ヲ偵
察セシメ且ツ之ニ通スル中央橋ノ梁ヲ一分隊ヲ以テ台榭セシメ警戒ス

- (二) 午後零時三十分頃通信網架設中ナリシ通信班一小銃一ヶ分隊ヲ附スハ
敵兵二〇名ノ襲撃ヲ受ケ一小隊ヲ出シテ之ヲ撃退シ北方ニ追撃中ナリ

- (三) 午後零時五十分通信連絡ナリ情况ハ聯隊ニ報告スミナリ

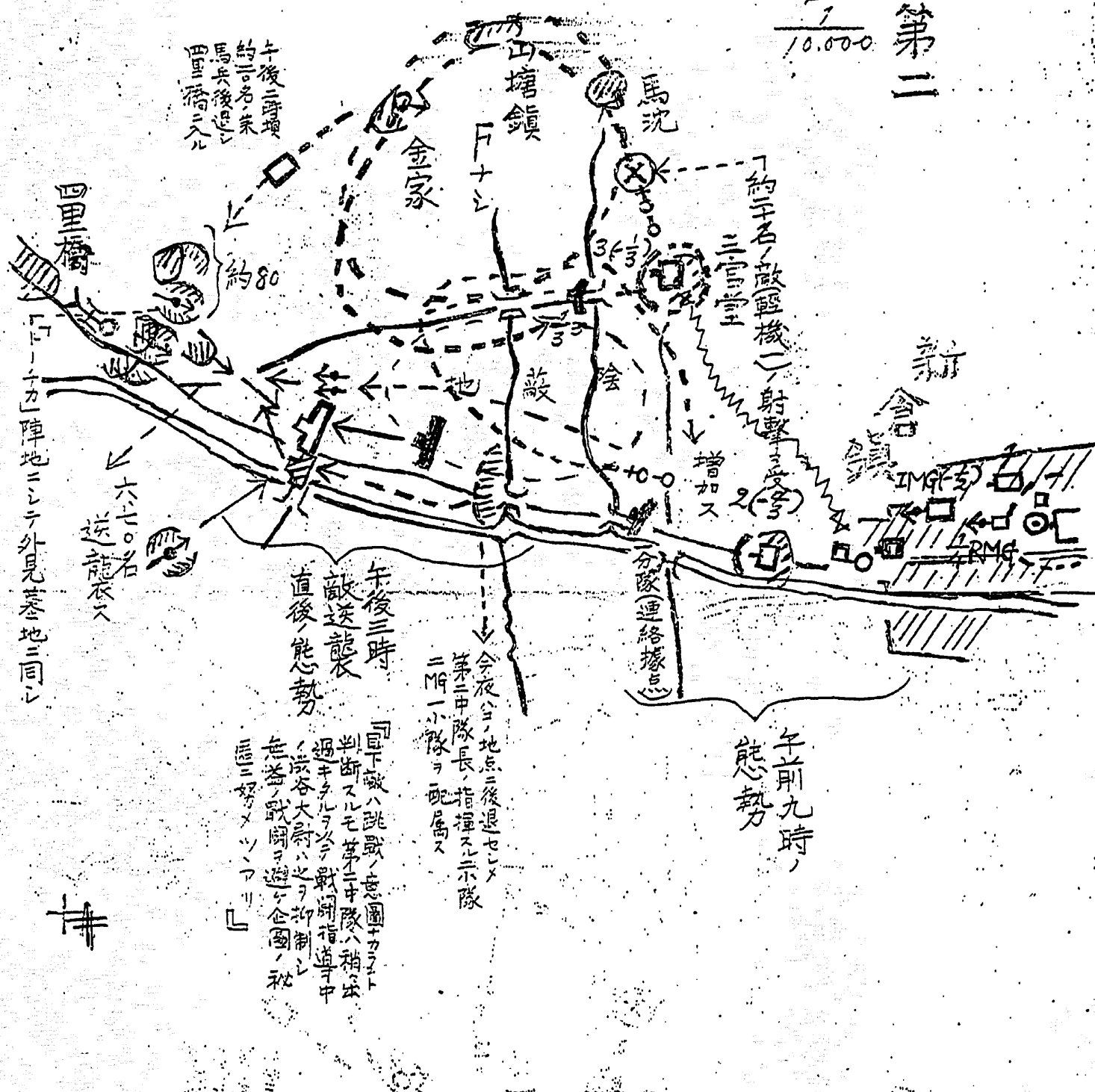
棠川伍長ノ率ル斥候ハ三官堂北方一〇〇米ヲ北進中南方無名部落
ヨリ輕機ノ射撃ヲ受ケタルモ敵影ヲ見ス

彼我態勢要圖

(於十一月二十日)

附圖第二

1700



八午後一時三十分左記聯隊命令ヲ受ク

歩六作命申第一三號

步兵第六十六聯隊命令

十一月十二日午後一時
於新倉鎮聯隊本部

一、四里橋附近、敵ハ輕機関銃ヲ有シ其ノ兵力審テラズ午前土時稍々過キ
我々第二中隊第一小隊ニ對シ逆撃シ来タルニ該小隊並増援隊ニ依リ
撃退セラル三官堂附近ニハ敵ノ敗殘兵約三十名現出シ来タルニ我々三官
堂部隊ノ一小隊及通信兵ノノ西北方ニ數テ退セラル

馬橋ヲ占領スベキ我々第九中隊ハ主力ヲ以テ新倉鎮西南方クリーク交叉
点クリーク線路交叉点方面ヨリ敵ノ背後ヲ攻撃中ナリ

二、聯隊(第二大隊欠)ハ現在地ニ位置シ前任務ヲ續行セントス

但シ步兵百二聯隊ハ我々第九中隊ノ馬橋ヲ占領スベキ該地ニ於テ交代
シ新倉鎮其ノ西方三官^堂集團部落南端及廣福橋南端ヲ連スル線
以南ノ地區ニ於ケル敵狀ヲ搜索ス

三、第一大隊(第四中隊欠)ハ依然任務ヲ續行スベシ

五

1701

但し聯隊機關銃一小隊ヲ配屬ス

四聯隊砲及歩兵砲隊長ハ將東四里橋及廣陳鎮ヲ攻撃スル爲新倉鎮西方約一〇〇米第二中隊一小隊ノ搜索據点附近ヲ天明中ニ陣地ヲ偵察シ置クベシ

五、通信班ハ新倉鎮聯隊本部ヲ基点トシ第一大隊及三官堂部隊ニ対シ三局一回線ノ電話網ヲ架設スベシ

六、第三大隊長ハ既ニ指示セル搜索外西馬橋西南ヨリスル趙家橋鎮攻撃ノ多進路及敵狀偵察ヲ取止メ新三將校ヲ候ヲレテ三官堂山塘鎮ヲ經テ橫碼頭方面ニ至ル進路並ニ其ノ敵狀ヲ搜索セシムベシ

七、第三大隊ハ既ニ指示セル搜索外新倉鎮南側西馬橋ニ通スル道路ニ対シ直接警戒網ヲ構成スベシ

八、各隊ハ現在ノ態勢ヲ以テ四周ニ対スル警戒ヲ嚴ニシ夜ヲ徹スベシ

但し第一大隊長ヨリ出シアル西里橋東南方搜索據点ノ兵力ヲ強大ナシムベシ

九各隊ハ概ネ午後二時四十分迄ニ搜索シタル敵然地形ヲ取纏メ要圖ヲ
テ報告スベシ(三通)

一、予ハ以前聯隊本部ニ在リ同所ニ命令受領者ヲ出シ置クベシ

聯隊長 山田中佐

下達法

第三大隊長第九中隊長聯隊砲歩兵砲兩隊長ハ要旨ヲ口達シ
爾後命令受領者ニ口達筆記セシム

注意

斥候ハ概ネ一小隊其他各種ノ命令受領傳達者ハ少ナクモ一分隊以上ノ
兵力ヲ以テ行動セシメ敗残兵ハタノ不覺見ヲ取ラサル如ク注意スルヲ要ス

九右聯隊命令之基キ左ノ大隊命令ヲ下達ス

第一大隊命令

十一月十二日午後二時。分
於新倉鎮西端大隊本部

一、四里橋附近ノ敵ハ輕機ヲ有シ其ノ兵力ヲ審ナラス。午前十一時稍々過
我第二中隊第一小队ヲ送襲シ来タルモ該小队並増援隊ニ依リ

撃退セシ三官堂附近ニ敵ノ敗殘兵約三十名現出シ来タルモ我カ三官堂部隊ノ小隊及通信兵ノタメ西北方ニ數年退セラル
ニ大隊(第四中隊欠RMG小隊ヲ附ス)ハ依然前任務ヲ續行ス
三各隊ハ依然前任務ヲ續行スベシ

第一大隊長 一刈少佐

下連法

第三中隊ニ電話ヲ以テ口達シ爾後命令受領者ヲ集メ連筆記セム
十午後二時三十分ニ於ケル彼我態勢要圖附圖第二ノ如シ

午後五時渋谷大尉ヨリ左ノ報告ヲ受ク

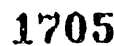
(一)敵ノ兵力及友軍ノ情况ハ要圖ノ如シ(附圖第二參照)

(二)第二中隊ノ配備ヲ指導シテ後歸還スル予定ナリ

判決——敵ハ本夜必ス数回ノ送襲ヲ決行スルナリ

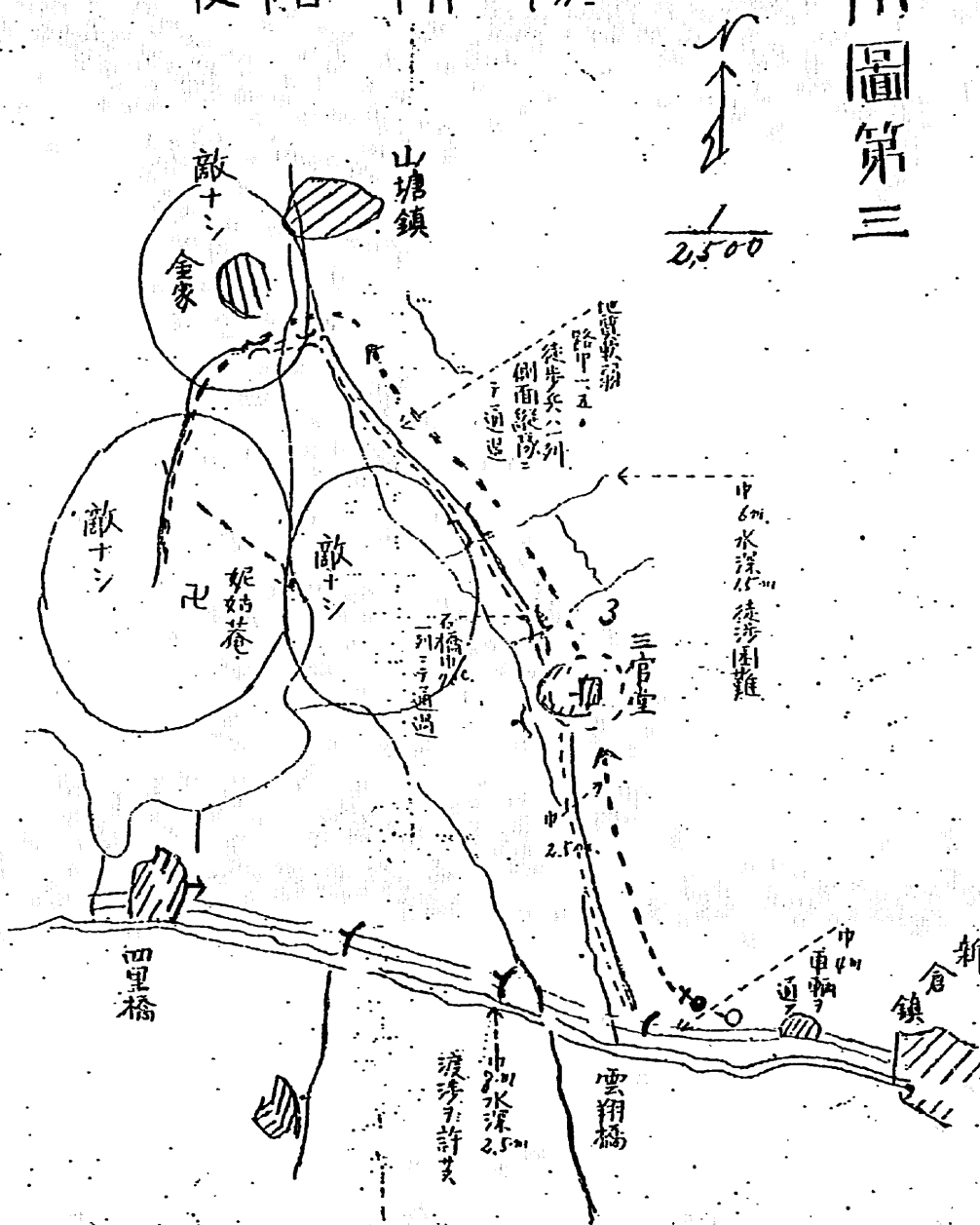
之ヨリ稍々前大隊長ハ新倉^(鎮)西方一〇〇米ノ地点ニ進出シ戦況ヲ觀察セリ當時ハ間渴的ニ銃聲聞エ流弾飛来セリ

附圖第四



北詰將校候搜索要圖
於十一月二十日午後

附圖第三



1706

天候ハ急変シ降雨ヲ見ル

薄暮聯隊命令ニ依リ協力ノ任ヲ受ケ歩

兵砲中隊進出シ来ル

大隊長ト協定第三中隊ノ位置ニ陣地進入シ四里橋

ノ敵陣地ニ對シ十數発ノ威赫射撃ヲ加ヘタリ時ニ午後六時三十分ナリ

敵ハ遂ニ沈黙ス

大隊長ハ更ニ敵情ヲ視察スル共第一線ノ配備ヲ指導ス

十一 四里橋方面ノ敵情地形ノ搜索ニ派遣セル將校中隊長少尉ハ概テ附圖第二

情况ヲ偵察シ且ツ一時第二中隊ノ戰闘ニ協力セリ

廣陳鎮ニ通スル道路ヲ偵察シ兼テ進路ノ敵情ヲ搜索スベキ任務ヲ以テ派

遣セル將校中隊長北結少尉ハ午前十一時頃少數ノ敵ト遭遇シ之ヲ西北方ニ

撃退シ予定ノ如ク搜索シ三官堂第三中隊ニ連絡同所ニ於テ電話ス

テ情况報告ヲナシ午後六時。分歸還ス 搜索要圖附圖第三如シ

十二 第二中隊正面ノ逆襲情況ハ電話ヲ以テ屢々聯隊ニ報告セルモ午後五時要

圖ヲ附シテ報告ス(附圖第二参照)

同時三官堂第三中隊長ヨリ敵情變化ナシト報告ヲ受ク

十三 午後六時ニ於ケル彼我態勢要圖附圖第四ノ如ク戰場靜穩ナリ

第一線各隊ヲ督勵シ專ラ敵情地形ノ搜索ニ任ス

十四午後十時三十分 左記聯隊命令ヲ受ク

歩六六作命甲第一四號

步兵第六十六聯隊命令

十一月十二日午後十時三十分
於新倉嶺聯隊本部

一、四里橋ノ敵ハ機関銃ニ小銃五十又張家開嶺ニ步兵二小隊アルモ如シ
旅團(山砲一中隊、工兵一中隊、旅團無線ヲ屬ス)明十五日師團第一線ト
ナリ当面ノ敵ニ對シテ右翼方向ヨリ廣陳鎮西方約十米方向ニ保持シテ左側
背ヨリ包圍スル如ク攻撃スルニ李家港廣福橋明字圩ノ線ニ進出ス
砲兵十三聯隊第三大隊ハ天明ト共ニ砲撃ヲ開始シ主力ヲ以テ四里橋廣陳
鎮附近ヲ砲撃シ旅團ノ攻撃ヲ協力スルモ

二、聯隊(第二大隊、第三大隊(第九中隊、第十中隊))聯隊砲(六、九第一
線トナリ四里橋廣陳鎮ノ敵ニ對シテ完全橋及其北方クリク橋梁及其
西北方妮姑菴ノ線ニ明十五日午前六時迄ニ攻撃ヲ準備四里橋及廣陳鎮
ノ敵ニ對シテ午前八時三十分攻撃ヲ開始シ北方ヨリ敵ノ側背ヲ攻撃セシメ

三、步兵第百二聯隊(第一大隊第九中隊機銃一小隊欠)二兵一小隊主力
右第一線トナリ廣陳鎮ノ敵ニ対シ妮姑菴ノ北方地區ニ明十三日午前六時
迄攻撃ヲ準備シ完了ト共ニ攻撃ヲ開始シ敵ノ左側背ヨリ廣陳鎮附
近ノ退路ヲ遮断シ殲滅ス

四、西第一線ノ戦闘地境

馬沈方南端妮姑菴北方三〇〇米廣陳鎮北側廣福橋ヲ連スル線
トス線上ハ步兵第百二聯隊トス 左側隊ハ約二中隊ノ兵カヲ以
テ趙家橋鎮ノ敵ニ対シ午前六時迄ニ攻撃ヲ準備シ午前八時三十分攻
撃前進北側ヨリ敵ノ側背ヲ攻撃ス

五、第三大隊(第九第十中隊欠)MGハ旅團予備トナリ右翼共隊ニ續行シ
午前六時迄西馬橋西方ニ位置スベシ 後備山砲第二中隊ハ歩兵ノ
後方ヲ前進シ午前六時迄ニ雲翔橋西方地區ニ陣地ヲ占領シ天明ト共ニ
四里橋附近ノ敵ヲ攻撃シ左第一線ノ戦闘ニ協カス

歩兵砲隊ハ聯隊砲隊長ノ指揮ヨリ雲翔西方一軒家附近ニ陣地ヲ

八
占領主カヲ以テ四里橋一部ヲ以テ陸字坪附近ニ現出ヲヨキス敵側防
火ヲ求メテ射撃ヲシ第一線ノ攻撃ヲ進捗ニ伴ヒ逐次前方ニ推進ノ処置
ヲナスベシ

又山砲掩護トシテ歩兵第六十聯隊第十中隊ノ一小隊ヲ雲翔橋ニ
出シ勝又少佐ノ指揮ヲ受ケシムベシ

六第一大隊(第二機関銃一小隊欠聯隊機関銃一小隊欠ヲ属ス)

ハ右第一線トナリ正子迄ニ雲翔橋ニ集合シ三官堂馬沈方ヲ至テ妮始
菴ニ向ヒ前進スベシ

七聯隊歩兵砲隊長ハ部下部隊及第二中隊機関銃一小隊ヲ合セ指揮シ
左第一線トナリ午前六時迄ニ沙金橋ニ攻撃ヲ準備シ我カ砲撃後
午前八時ヲナカ右翼隊ニ連繫シ四里橋陸字坪ノ敵ヲ攻撃スベシ

八西隊戦闘地境ハ馬沈方四里橋中央ニ官橋ヲ連ヌル線トス

九第四第十中隊聯隊機関銃一小隊旅團無線一機ハ正子迄ニ新倉鎮西
端ニ集合シアルベシ 通信班ハ即時徹法ニ三官堂ニ到リ聯隊ノ指揮ニ入ルベシ

一、不用材料ハ最小限ノ人員ヲ残置シ現在地ニ在リテ後命ヲ待ツベシ
二、予ハ正子新倉鎮西端ニ在リ命令受領ヲ出シ置クベシ

聯隊長

山田中佐

下達法

命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

五、右聯隊命令ニ基キ左記大隊命令ヲ下達ス

第一大隊命令

十一月十三日午後十時分
新倉鎮西端

一、四里橋ノ敵ハ機関銃（小銃五挺）又張家洞鎮ニ歩兵二隊ヲ駐ルベシ
聯隊（第二大隊、第三大隊、第九、第十中隊）聯隊砲兵（八挺）第一線
ナリ四里橋廣陳鎮ノ敵ニ對シ完全橋及其北方クリクノ橋梁及其配
方妮姑菴ノ線ニ明十三日午前六時迄ニ攻撃ヲ準備シ四里橋及廣陳
鎮ノ敵ニ對シ午前八時三十分攻撃ヲ開始シテ北方ヨリ敵ノ側背ヲ攻撃ス
聯隊砲隊長ハ部下部隊及第二中隊（四挺）隊ヲ合セ指揮シ左第一線
トナリ午前六時迄ニ沙金橋ニ攻撃ヲ準備シ我砲撃ヲ後午前八時三十分

右翼兵隊ニ連繫シ四里橋陸字坪ノ敵ヲ攻撃スル旨

二大隊(第四中隊及機関銃一小隊ヲ欠キ)RMG(一二挺)ヲ備スハ右第一線ト

ナリ正午迄ニ雲翹橋ニ集合シ三官堂ニ馬沈ヲ全テ妮姑菴ニ向ヒ前進シ
明十三日午前六時迄ニ廣陳鎮ノ敵ニ對シ攻撃ヲ準備セシト人

左第一線トノ戰鬪地境ハ馬沈方—四里橋中央—三官堂ヲ連ヌル線トス

三各隊ハ午後十時三十分迄新倉鎮西方ニ。米一軒家ヲ先頭トシ(1/3)16

IMG(3)RMG(1/3)ノ順序ニ進上縦隊ニ集合スベシ但シ第三中隊ハ現

在地ニ於テ大隊ノ到着ヲ待テ大隊到着後敵意ヲ微シ行軍序列ス

ルベシ三官堂—新倉鎮道ニ案内者ヲ出シ置クベシ

四第一中隊北詰少尉ハ妮姑菴ニ至ル大隊ノ進路ノ案内ヲ為スベシ

五余ハ午後十時三十分新倉鎮西方ニ。米一軒家ニ在リ

後第一中隊ノ先頭ヲ行進ス

第一大隊長 一刈 少佐

下達法

第三中隊ニ電話ヲ以テ其ノ他ハ各隊長ヲ集メ要旨ヲ傳ヘ後命令
受領者ヲ集メ口達筆記セシム

十六、携行セル自転車五台及若干ノ私物ヲ残シ（新倉鎮部隊ニ依頼）午後
十時四十分第一中隊北詰小隊ヲ尖兵トシ新倉鎮西端ヲ進發ス
降雨ハ烈シク道路泥濘化シ歩行極メテ困難ナリ

大隊長ハ先頭ニ在リ將校斥候長ヲリシ北詰少尉ヲ誘導シ將校トシテ
前進セルモ雲翹橋ヨリ通スル道路ハ降雨ノタメ所々崩壊シ且ツ橋梁
破壊シテ通過困難ナルタメ新倉鎮ニ引キ返シ同地北方地區ヲ至テ三官
堂ニ至ル依然惡路ニシテ且ツ暗夜ノタメ行軍長至ハ著シク^仲屢々停止セ
モ動カモスレバ後方部隊ハ連絡ヲ失シ携行セル自転車等ハ全ク推シ行
不能トナリ途上ニ残置スルノ止ムナキニ至ル

十一月十三日

午前零時五十分三官堂ニ於テ第三中隊ヲ行軍序列ニ
入レ更ニ西方ニ向ヒ難行軍ヲ續ク路面滑リ轉倒スルモノ相
次ギ道路兩側ハ水田ニシテ水稲ハ刈取ラレス膝ヲ没スル所アリテ
路外、通行ハ至難ナリ

四里橋西方約十料、地臭ニ於テ漸ク拂曉トナル、午前五時
過ナリ

此、地方ハ平坦地ニシテ水田多ク且小部落一面ニ臭在シ著明
ノ目標ナク地形地物ニ特徴ナク圖上ニ於テ現在地ヲ知ルハ至
難ナリ、遠ク四里橋西方ノ普照寺ヲシキ寺院ヲ目標トシ
磁針ヲ以テ方向ヲ維持シテ、前進セリ

然レトモ妮姑巷附近、覺シキ附近ニハ家屋ハ各所ニアリ進路
ノ選定ハ困難ヲ感セリ、午前七時五十分頃遙カニ南方ニ歩兵
第一〇三聯隊ノ進出セルヲ認め、一分隊ヲ連絡、夕メ差遣セリ雨

ハ濁ミタルモ靄ノタメ四周ノ部落ハ遠望ヲ許サス

ニ大隊ハ依然第一中隊ヲ尖兵トシ前進路兩側ノ部落ヲ搜索警戒シ、前進ス

三午前九時零分、四里橋西南地區ノ無名部落ニ到達セル際前方七百米ノ部落ヨリ敵機銃ノ齊射ヲ受ケ、茲ニ敵ト遭遇セリ。大隊長ハ部隊ヲ部落内ニ掩蔽停止ヲ命ジ、各隊長ヲ先頭ニ集メ敵情ヲ視察ス

同時左ノ要旨ノ聯隊命令ヲ受ク

一 敵情貴官、認ムル通りニシテ敵ノ兵力ハ輕裝一ヨ有スル約四十名ナリ
ニ 聯隊ハ當面、敵ヲ駆逐シ四里橋西南地區ニ進出シ敵ヲ退却ヲ求メテ攻撃セントス

三 第一大隊第一線當面ノ敵ヲ駆逐シ四里橋西南地區ニ向ヒ攻撃手ス
右命令ニ依リ左記大隊命令ヲ下達ス
第一大隊命令

十一月十三日午前九時十分
於四里橋西北ニ有ル無名部落ハ隊本部

一敵情ハ諸官ノ目撃セル通りニシテ當面ノ敵ハ兵力ハ僅少ナリ

二大隊ハ第一線トナリ、當面ノ敵ヲ駆逐シ、四里橋西南地區ニ向ヒ攻撃セシム

三、IMG^(B)ハ右、第一中隊ハ左第一線、第三中隊中央後ノ豫備、第二中隊ハ敵ノ左翼ヲ包圍スル如ク攻撃スヘシ

第二中隊基準前進目標ハ前ノ寺ノ方向直ニ攻撃前進

第一大隊長 一川 少 佐

下達法

各隊長ヲ集メ口達シテ後命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

四、大隊攻撃前進スルヤ、敵ハ當初大ナル抵抗ヲナスコトナク、後退セルモ逐次左後方ニ移動シ、其ノ兵力ヲ増シ各部

落ヲ據英式ニ占據シ、稍々頑強ナル抗戦ヲナス

午前十時三十分大隊長ハ敵ハ其ノ左後方ニ移動スルヲ

見テ中央後ノ豫備隊タリシ、第三中隊ヲ右第一線ニ

出シ、第一中隊ヲ左翼後ノ豫備トシ、逐次敵ノ左翼ヲ包

圍スル如ク攻撃セシム

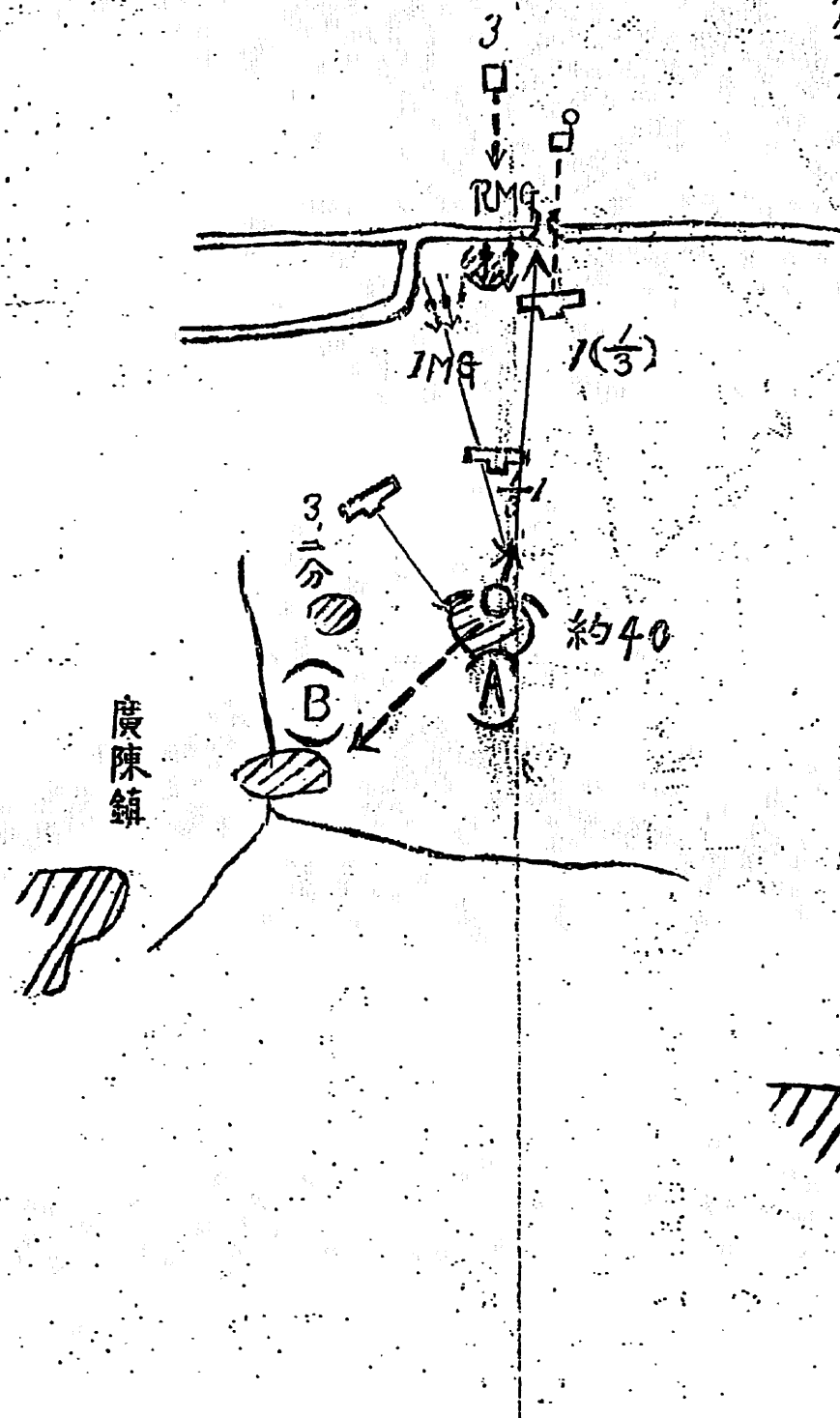
當時¹⁰²ニ連絡ニ差遺シタル第三中隊ノ清水分隊¹⁰³我々
右翼ニ出テ連絡系シテ攻撃ヲ前進セリ

(附圖第六第七参照)

同時附圖第七¹⁰⁴情況ヲ聯隊ニ報告ス

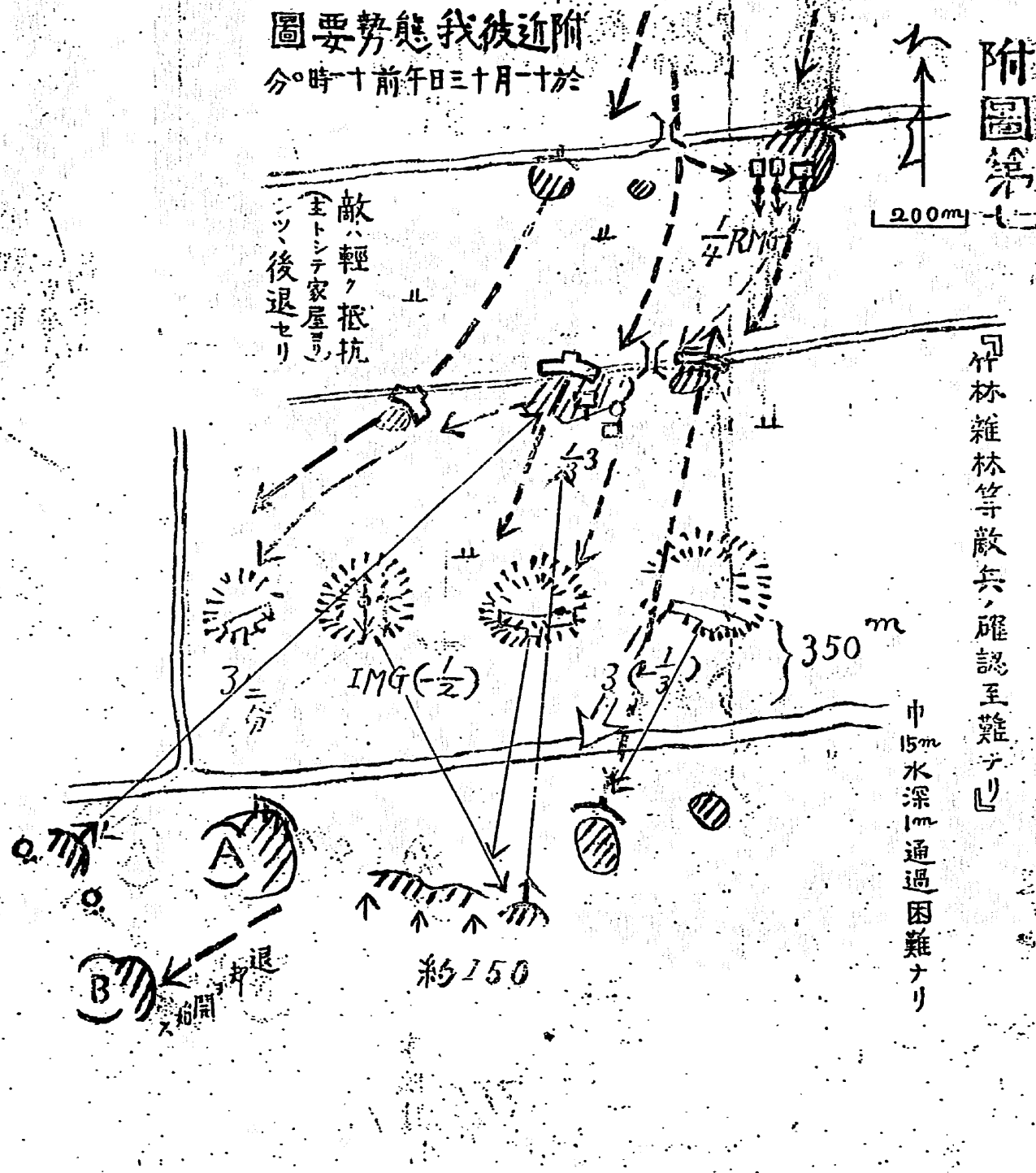
圖要勢態我彼近附
分十四時九前午日三十月一十於

附圖第六

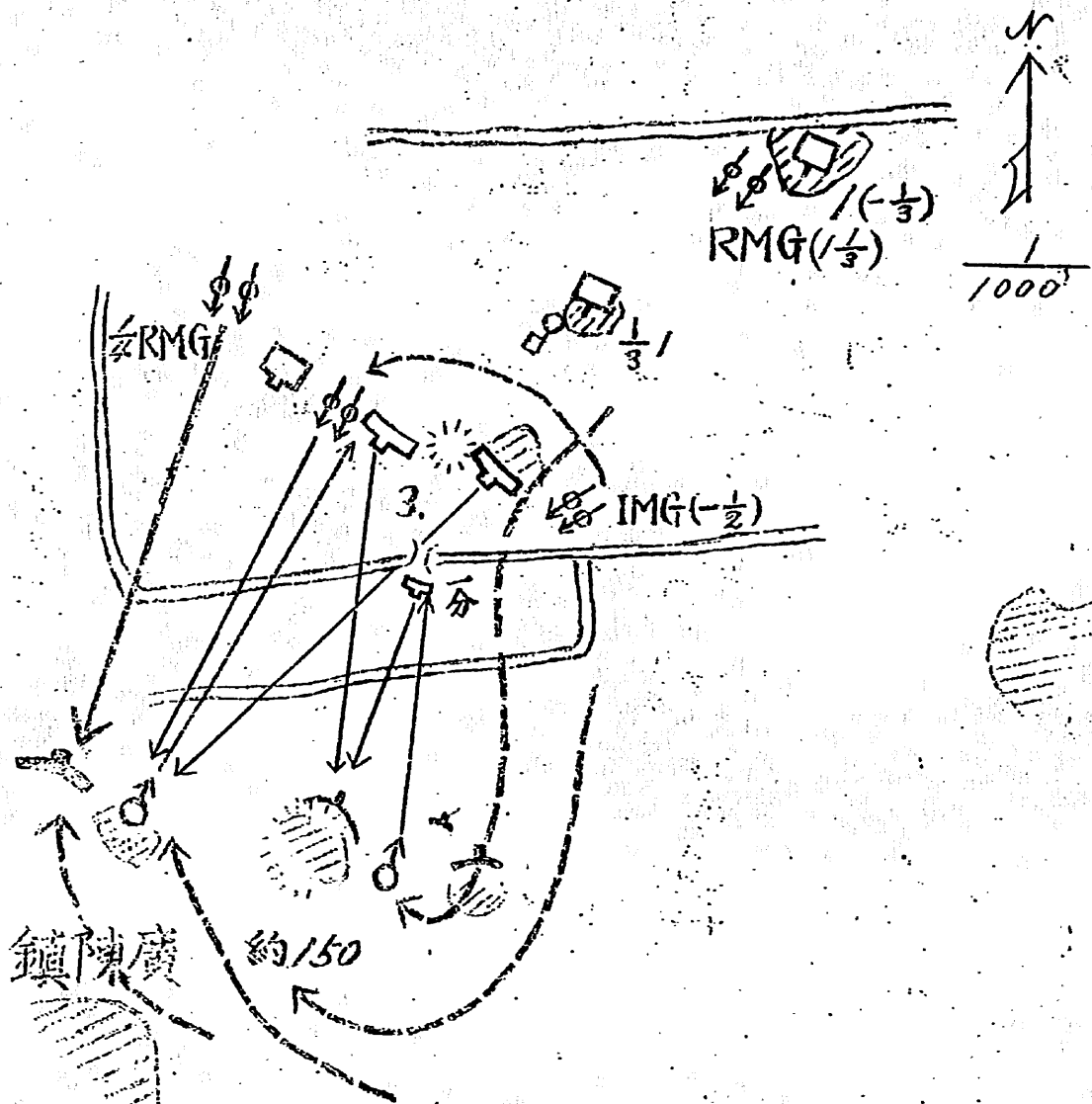


圖要勢態我彼近附
分〇時一十前午日三十月一十於

附圖第七



附圖第八
圖要勢態我彼近附
分〇時一後午日三十月一十於



五、午前十一時十分左記ノ如キ聯隊長ノ意圖ヲ承知ス、

一、前面、敵ハ貴官ノ攻撃ニヨリ包圍セラレアルモ飛行機、空中射撃並ニ爆彈投下ヨリ察スレハ野澤部隊未タ四里橋ヲ占領シアラサルモノ、如ク過度ニ深入スル時ハ友軍相撃ノ憂アリ、

右第一線聯隊ハ目下聯隊、右後方ヲ廣陳鎮方向ニ前進中ナリ、

ニ、第一大隊ハ暫ク現在地ニ停止シ敵情地形ヲ偵察シ爾後ノ攻撃ヲ準備スヘシ、

六、右ニ依リ一時停止シ專ラ敵情地形ノ偵察ヲナス戰場ノクリークハ概ネ巾水深共附近ノ材料ヲ以テセハ渡河シ得ルコトヲ確メタリ其ノ後敵ハ益々左後方ニ移動セルヲ以テ情況ヲ聯隊長ニ報告スルト共ニ第一線ヲ以テ敵ノ右翼ヲ壓シツ、前進ス(附圖第八参照)

同時四里橋方向ニ盛ナル銃砲聲ヲ聞キ當面ノ部落ハ

廣陳鎮ナルコトヲ概ネ確實ニセリ、當面ノ敵ハ機銃三ヲ有ル約二百ニシテ陣地ハ掩蓋ヲ有スルモノト莫在シ、且ツ附近ノ家屋ハ防禦設備ヲ施シ相當堅固ナルコト逐次判明セリ、又廣陳鎮北側並ニ東側ニハ大クリークアリ、徒涉困難ナルヲ知ルモ、午後二時三十分ニハ第一線ヲ以テ敵前五〇。米ニ達シ戰鬪漸次酣トナリ、敵機銃ハ間斷ナク射撃ヲ續ケ第三中隊正面ニ死傷者ニ空ハ此頃友軍飛行機（海軍機）我上空ニ活動ヲ續ケ敵陣地ヲ爆撃シ或ハ底空ヨリ地上射撃ヲナシ或ハ通信筒ヲ投シテ敵情（概ネ要圖ノ敵情）ヲ知ラセ、數機編隊ニテ又單機ニテ飛ヒ去リ飛ヒ來リテ協力シ地上部隊ノ士氣ヲ鼓舞セリ、敵ハ我ヲ飛行機上空ニアル間ハ射撃ヲ中止スルヲ常トセリ。

空地連絡ハ密ニ實施サレ對空連絡班ハ敵彈下ニ在
リテ活動シ屢々方向ヲ示シテ爆撃ヲ要求スレハ忽ニシテ
敵陣地ニ爆音起リ黑煙中天ニ噴出スルヲ見ル然レトモ
敵陣ハ堅固ニシテ暫クスレハ又モ射撃ヲナス輕擲ハ威
力及ハス重擲ハ必要ヲ痛感セリ

七、大隊長ハ薄暮當面ノ敵陣地ヲ奪取セント企圖シ之ヲ
聯隊長ニ報告スルト同時ニ午後五時三十分豫備隊ヲ
リシ第一中隊ヲ第三中隊ニ連繫シ右羽翼ニ増加シ各隊
長ヲ第一線ニ集メ敵情ヲ觀察シツ、左ノ命令ヲ下達ス
第一大隊命令

十一月十三日午後五時三十分
於廣陳鎮東北方四〇〇米大隊本部

- 一、敵情ハ諸官ノ認ムル通りニシテ敵ハ頑強ニ抵抗ヲ續ク
- 二、大隊ハ攻撃ヲ續行シ薄暮當面ノ敵陣地ヲ奪取セントス
- 三、第三中隊ハ一小隊ヲ以テ左方家屋ニ據ル敵陣地ヲ奪取シ次
イテ主力ヲ以テ當面ノ敵陣地ヲ左側面ヨリ攻撃シ之ヲ奪取ス

四

ヘシ、攻撃前進ノ時機ハ別ニ命令ス。

四、IMG(台)ハ西側地區ニRMG(台)ハ東側地區ニ(細部ハ現在ニ於テ指示)

進出シ、敵ヲ制壓シ、第三中隊ノ前進ヲ援護スヘシ。

五、第一中隊ハ右翼後ノ豫備一部ヲ以テ敵左側ニ進出敵ヲ

牽制スヘシ。

六、余ハ第三中隊ト共ニ前進ス。

第一大隊長 一刈少佐

下達法

各隊長ヲ集メ現地ヲ指示シ、要旨ヲ傳ヒ、後命令受領者

ヲ集メ口達筆記セシム。

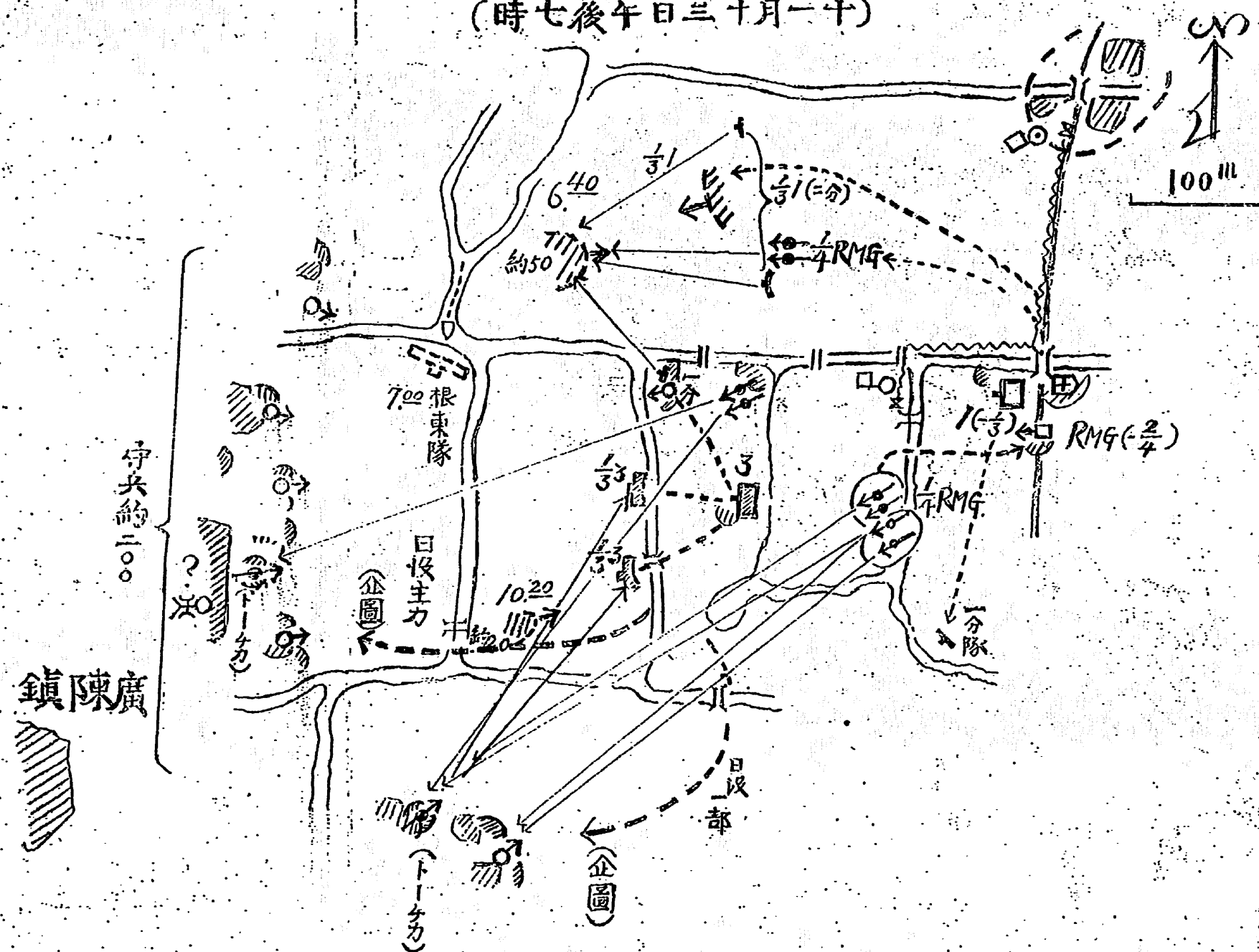
八、十三日午後七時ニ於ケル彼我態勢要圖、附圖第九、

如シ。

九、當時第三中隊ハ敵前近ヲ進出シ、十字火ヲ蒙リ最

モ苦戦ノ情況ニアリシモ大隊命令ヲ受ケタル中隊長

附圖第九



以下決意ヲ固メ、士氣軒昂タリ。

機關銃隊ハ各々所命ニ通り陣地ヲ偵察シ進入シ、第三中隊ハ著々準備ヲ進メタルモ既ニ薄暮迫リ、我第一線部隊ノ活躍ニツレテ敵ノ射撃亦次第ニ熾烈トナリ、其ノ兵力ハ重機ニ輕機少クモハニ増加シ迫撃砲ヲ有スルコト判明セリ。

大隊長ハ攻撃ノ時機既ニ去リ夜襲ノ為メニ準備十分ナラサルヲ思ヒ、攻撃前進ヲ中止シ、現在地ニ於テ更ニ敵情地形ヲ搜索シ明拂曉ノ攻撃ヲ準備スルコトトシ、其旨聯隊長ニ報告ス、夜ニ入りテ屢々敵ハ小部隊ヲ以テ出撃シ、又第三中隊正面ハ間斷ナク射撃スル等活潑ナル行動ヲ示セリ。

十午後七時頃、正面クリークノ線ニ日本軍ノ音聲ヲ聞ス（日本軍ヲ撃ツト喚フモノアリ）小隊長殿ト呼フモノアリ、即チ大

四里橋攻撃部隊ナル左第一線野澤部隊爾後、情況不明ナリ。

三、第一大隊（第二、四中隊）^明敵ヲ屬スハ成ルヘク兵カラ集結シ
四周ニ對シ陣地ヲ構築シ敵情ヲ搜索シ、夜ヲ徹スヘシ。

四、第四中隊ハ軍旗護衛中隊トス。
軍旗ニ單哨ヲ配置スルト共ニ本部四周並ク陣地ヲ構築シ敵
戒兵ヲ配置シ夜ヲ徹スヘシ。

敵精地形ヲ搜索シ、間シテハ則ニ北ヲ示ス。

五、通信班ハ依然第一大隊本部ト電話網ヲ架設シアルヘシ。

六、給養ハ現地物資ニ依ルヘシ。

七、余ハ依然現在地ニアリ。

聯隊長 山田中佐

下達法

第一大隊ニハ電話ヲ以テ軍旗護衛中隊ニハ口達ス。

十二、右聯隊命令ニ依リ左記大隊命令ヲ下達ス。

第一大隊命令

十一月十三日午後八時五十分
於廣陳鎮東北約四〇〇米大隊本部

一、敵情ハ諸官ノ知ル通り

右第一線部隊ハ廣陳鎮東方ニ進出セルモ其ノ後情況不明ナリ又左第一線タル野澤隊ノ情況不明ナリ

聯隊ハ現在ノ態勢ヲ以テ至嚴ナル警戒ヲナシ夜ヲ徹ス

二、大隊ハ概テ現在ノ位置ニ堅固ニ陣地ヲ構築シ四周ニ對シ警戒シ搜索ヲ續行シツゞ夜ヲ徹セントス

三、第一中隊長ハ將校ヲ指揮スルニケ分隊ヲ以テ現在ノ右クリーク第一クリーク第二クリーク間ニ配置シ概テ西方ニ對シ警戒スヘシ又將校ヲ指揮スルニケ分隊ヲ以テ第三クリーク第二クリーク間ニ東南面シテ陣地ヲ占領後方向ヲ警戒セシムヘシ

四、第三中隊長ハ夫々一部ヲ以テ概テ現在地ニ概シテ西南面シテ警戒ニ據真陣地ヲ占領シ努メテ多クノ兵力ヲ中央ニ集結諸方向

ニ對シ兵カヲ使用シ得ル如ク準備スヘシ

其ノ細部ハ澁谷大尉ヲシテ指示セシム

五、^(中)第三中隊ノ右地區方面ニ陣地ヲ占領シ、第一、第三中隊

正面ニ火力ヲ指向シ得ル如ク準備スヘシ

六、^(中)一小隊ヲ以テ概シテ第三中隊ノ左翼方面ニ陣地ヲ占領

シ、南方及西南方ニ火力ヲ指向スル如ク又一小队ハ現在地附

近ニ陣地ヲ占領シ、東方ニ對シ射撃シ得ル如ク準備スヘシ

七、殘余ハ豫備隊トス概ネ現在地ニアリ、四周ニ對シ警戒スヘシ

尚第三中隊ニ協カシクリ、渡河矣ヲテ所作ルヘシ

八、余ハ依然現在地ニ在リ

第一大隊長 一川少佐

下達法

各隊長ヲ集メ口達ス

右命令ヲ口達シタル後澁谷大尉ニ大隊長ノ意圖ヲ詳細指

七
示シ第三中隊ヲ指導セシム

十三年後九時頃根東隊ノ齊藤伍長以下八名(少佐)ノ舟ニテ戰死者一名ヲ乗セ本部、位置ニ來タリ死体運搬ヲ依頼シタキ旨ヲ述ヘタルモ大隊ハ敵ト接觸對峙シ且ツ我カ第三中隊ノ戰死者モ今尚未後方ニ搬送ノ暇無キ状態ニアルヲ以テ自カヲ以テ之ヲ聯隊本部、位置迄運搬セシム、各隊ハ銳意所命事項ノ完成ニ努メツアリ、午後十一時敵ノ銃聲ハ哀ヘタレト依然動搖セス大隊ハ後方部隊トノ連絡ノタメ又、明拂曉出撃ノタメ舟或ハ葉ヲ以テ附近クリークニ數個、橋ヲ設ケシム、